

目次

- 1.地域連携センターあいさつ
- 2.センター長あいさつ・ドクターヘリ
- 3.災害時のドクターヘリ
- 4.地域連携研修会のお知らせ

## 連携ニュース

### 記録的大雪の中ドクターヘリが大活躍



地域連携センター  
統括部長

小嶋裕一郎

### 地域連携センター部長あいさつ

地域連携センター統括部長に今年度より着任いたしました小嶋裕一郎と申します。

日頃当院との医療連携にご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨今の医療情勢の複雑化に伴い、医療機能を分化し綿密に連携することにより、患者さんおよびご家族が限られた資源を有効活用すること

で計画的で切れ目のないサービスを提供できる体制を整備する重要性が益々増大してきております。また、医療情報を積極的に提供することにより医療の質の向上と透明性を確保し、医療を受ける側と提供する側との信頼関係を確立することがより良い医療を提供する上で不可欠です。これらにより、患者と医療従事者が協力して疾病の克服を図る患者参加型の医療の提供が可能となると考えられます。

当院においても平成15年度より地域医療連携室がその窓口として連携業務をおこなっておりましたが、平成24

年度からは「地域連携センター」と名称を変更し、これまで以上に患者さんの総合的なサポートに邁進していくことになりました。具体的には周辺の医療機関、医療・療養施設からの受け入れおよび退院後の支援を病棟と連携して行い、患者さんの受診から退院後まで一連の医療を提供してまいります。また地域医療連携、退院・在宅支援、医療福祉相談の3本柱により相互の有機的な連携を行います。また当センターには、在宅療養の調整を支援する保健師と、入院や外来通院にまつわる経済的な問題や在宅に戻られる際の各種制度を活用等の相談を支援する医療ソーシャルワーカーも常駐し、専門的立場から患者さんの支援が可能です。

当センターが目指しておりますのは、地域の医療機関、諸先生および地域住民の皆さん、との「円滑な連携」です。病院の窓口として、ご利用していただく全ての皆さんのご要望・ご依頼に十分にお応えできる体制を整え、当院をより一層快適にご活用いただけますようこれからもスタッフ一同鋭意努力する所存ですので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 医療連携概略図



患者さんの紹介

患者さんの情報、医療情報の提供

返信、患者さんの逆紹介



親切、信頼、進歩 みんなで支える高度医療



地方独立行政法人山梨県立病院機構  
**山梨県立中央病院**  
YAMANASHI PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL  
地域連携センター

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1-1-1 TEL.055-253-7111 FAX(直通).055-253-2903





## ドクターヘリによる山梨県全域から迅速な救急搬送



# Doctor-Heli

救命救急センター

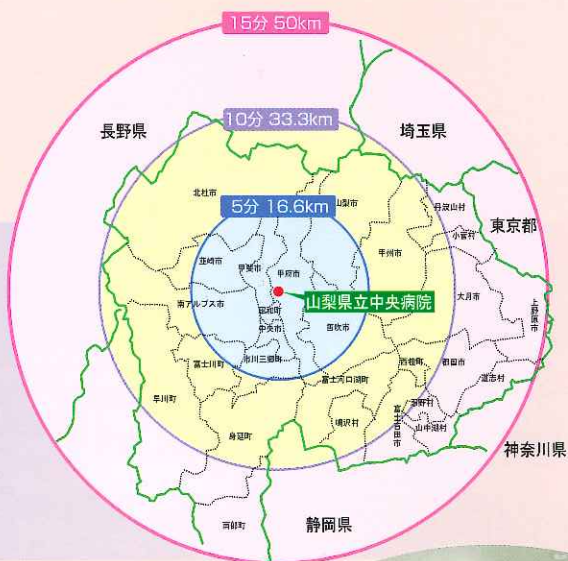
## ドクターヘリシステム



救命救急センター長  
**岩瀬 史明**

2012年4月から運航開始した山梨県ドクターヘリは、山梨県全域に出動します。2012年度は382件、2013年度は502件の出動がありました。ドクターヘリは、重症患者さんに対して現場での早期医療開始と医療機関までの迅速な搬送を目的としています。

また、災害時に道路が寸断され陸路による救急搬送ができない場合には、ドクターヘリが有効です。今回の大雪でも他の医療機関と連携したヘリコプター搬送の有効性が実証されました。



### 山梨県ドクターヘリ運航範囲

山梨県は基地病院から半径50kmでほぼ網羅される。つまり、ドクターヘリ出動からほぼ15分で患者にアプローチできる。

出動至適範囲を16km~50kmとして運用をしています。



山梨県全域からの運ばれた患者さんが安心して退院できるように地域連携センターのスタッフとともにカンファレンスを行っています。

# Doctor-Heli

## 観測史上120年で最高の積雪114cm

## を記録した山梨県、患者さんや妊婦さん

## の搬送にドクターヘリが大活躍しました。



2014年2月14日から15日にかけての大雪で甲府市街地で114センチメートルの積雪を観測し、記録が残る過去120年で最も積雪が多かった1998年の49センチメートルを2倍以上を上回る積雪となりました。今回の大雪で亡くなられた方もおられますし、大変なご苦労をされた方も多いと思います。

救急医療現場も大変な状況で、深雪による渋滞などで救急車は路上で立ち往生し、途中から道がなく救急車が現場にたどり着けないなどの問題も発生しました。救急隊員も救急車も必死でフル活動していたにも関わらず、普段のようなサービスが提供できず地域の住民の皆様におかれましては不安な思いをされた方も多かったかと思えます。

山梨県立中央病院救命救急センターでは、15日早々に緊急で大雪対策のための災害対策暫定本部が立ち上げられ、県内の他の病院や地域の各消防本部、県庁の災害危機管理課や医事課との情報交換を開始し、被害状況の把握と患者受け入れの準備を始めました。

中央線の運休や高速道路の寸断などで山梨県全体が陸の孤島になってしまったため、食料などの問題もですが、血液製剤など医療物資の搬入方法なども検討しなくてはなりません。

そんな中で活躍したのが消防防災のヘリコプターと2012年4月から運用を開始した山梨県ドクターヘリです。

ドクターヘリとは、救急医療用の医療機器等を装備したヘリコプターのことです。救急医療の専門医及び看護師が同乗し救急現場等に向かい、現場等から医療機関に搬送するまでの間、患者に救命医療を行うことができる専用のヘリコプターをいいます。

14日夜から降り始めた雪も15日午前中には止んだため、15日正午より医師、看護師、事務職員など総勢20名がかりで屋上ヘリポートの雪かきを行い、ヘリコプターが離着陸できるよう準備を行いました。

15日の午後から、県内の交通網が回復した18日の朝までの間に、消



防防災ヘリとドクターヘリとで、甲府市古閑で雪崩により孤立した患者さんの救出と搬送、早川町・大月市・丹波山村・小菅村など遠方の慢性透析患者さんの搬送と受け入れ、上野原市内で産気づいた妊婦さんの搬送と受け入れ、また長野県から血液製剤の搬入等を行いました。

山梨の防災ヘリ「あかふじ」は耐空検査で運休中のため、広域航空消防応援により横浜防災ヘリや長野防災ヘリ、静岡防災ヘリに出動していただき、医療の枠を超えて山梨県民の命を守るために大活躍してくれました。

山梨県立中央病院は今回の雪災害では診療停止に追い込まれることもなく通常通りの診療が可能であったため、普段のかかりつけの患者さんのみでなく、県内のあらゆる地域から緊急で治療が必要な患者さまを受け入れることができました。

引き続き、山梨県の基幹病院として、各診療分野において高度専門的医療を行うと共に、救急医療、また病診連携、病病連携を強化し、災害時でも患者さんが遅滞なく適切な医療が受けられるようにしていきたいと思っています。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



# 地域連携研修会が開催されました。

## 第2回 「慢性腎臓病の病診連携を考える」



平成25年11月21日、当院多目的ホールにて、当院腎臓内科 若杉医師がCKDの最新の話題、当院・山梨県のCKD診療の現状等について講演しました。連携登録医の先生方11名にご来院いただき、院内からは医師、看護師等22名が参加いたしました。

講演のあとのディスカッションでは、一人一人の先生方からご意見をいただき、早期から二人主治医制で診療を行っていききたい、山梨県に腎臓内科の専門医が少ない中、県全体でCKDをよくしていきたいといった意見交換ができました。

## 第3回 「大腿骨頸部骨折・骨粗鬆症の医療連携を考える」



平成26年2月3日、同じく当院多目的ホールにおいて、整形外科千野医師の司会のもと、同科佐久間医師が当院の地域連携パス、入院患者の現状等について講演を行いました。連携登録医の先生方19名にご来院いただき、院内からは医師、看護師等20名が参加いたしました。

大腿骨頸部骨折後の維持期をフォローする医療機関が少なく、かかりつけの整形外科を元々もっていない患者さんが多いという現状です。連携登録医の先生とともに、診療科を超えて骨粗鬆症を予防し骨折を起こさないよう取り組んでいきたいことを共有しました。

次回は「今後の社会保障政策の方向性について」～病診連携のあり方について～  
5月21日(水)19:30～20:30に行います。ぜひご参加ください。



紹介状のある初診患者さんは、患者さんご自身による電話予約や、かかりつけ医によるFAX予約ができます。

当院では、日頃よりかかりつけ医を持っていただくことをお勧めしています。体調に変化があったときはかかりつけ医に相談の上、紹介状(診療情報提供書)を持って受診してください。

紹介状のある初診患者さんは、初診の予約ができます。予約をすることで初診はさらにスムーズになります。

### 電話予約の流れ

1 かかりつけの医院を受診  
紹介状をもらってください

2 専用ダイヤルにお電話  
以下にお電話ください

☎ 055-253-7900  
9:00～17:00 月～金(祝祭日除く)

お電話前に準備してください  
①紹介状  
②電話診療予約申込書  
③当院の診察券(お持ちの方は)

3 受診当日

ご予約30分前に総合案内にお越しください

お持ちいただく物

①紹介状  
②電話診療予約申込書  
③保険証 ④当院の診察券  
⑤受給者証  
(老人医療、公費等該当する方)